



一小だより

古河市立古河第一小学校
第9号 令和2年9月17日(木)
校長 竹村 靖

Home page <http://koga-e1.koga.ed.jp>

住所 古河市中心三丁目10-1
TEL 0280-22-0101

学校生活も軌道に乗ってきました

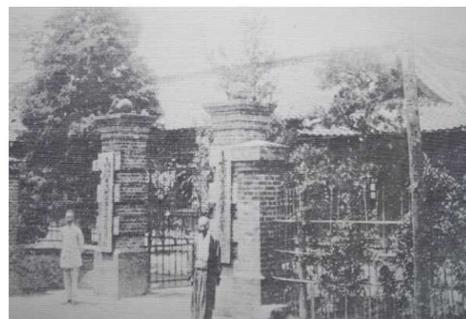
9月1日(火)から、通常の日課としました。コロナ禍の中、6月より学校を再開しましたが、様々な制限があり、日課も通常に戻すことができない状況でした。文部科学省から学校における新型コロナウイルス対策についての見直しが行われるとともに、茨城県の新型コロナウイルス感染状況もStage 2に引き下げられ、制限も緩和されました。これを受け、本校における制限を緩和しました。清掃を従来通りにしたり、消毒作業の方法の見直しをしたりしました。

今後は、授業内容や学校行事等について、見直しをしていきます。引き続き、新型コロナウイルス感染症感染・拡大防止対策には万全を期していきます。

10月1日は創立記念日116歳を迎えます

10月1日(木)は、創立記念日です。明治37年10月現在の場所に平屋建(山型校舎)建てられ一小の歴史がスタートしました。そして、昭和24年10月1日第1回の創立記念日が始まりました。

古河市立古河第一小学校は、歴史ある小学校です。この古河第一小学校で学ぶことができることに誇りをもって、学校生活を送ってください。古河一小の歴史は、学校ホームページに詳しい説明を掲載してありますので、是非、ご覧ください。



明治時代の赤門

赤門にレリーフを設置します

9月28日(月)から約2週間の予定で、赤門の隣にレリーフ(説明板)設置工事を行います。赤門は令和2年3月27日付で古河市指定文化財(建造物)に指定されました。赤門設置委員会を中心に、古河市教育委員会と連携した事業となります。

歴史ある古河一小を、今後も大切にするとともに、その伝統と文化を継承するようにしていきましょう。



古河一小はさいごの逃げ込み施設です 浸水や水没の危険があります

さいごの逃げ込み施設とは、水害時に要配慮者や遠くに避難する手段を持たない人または何らかの理由で逃げ遅れてしまい浸水想定区域外まで避難することができない人が逃げ込む施設です。最初からさいごの逃げ込み施設へは向かわないでください。河川が氾濫した場合、これらの施設は安全が確保できる階以下は水没します。(古河市ホームページより)

<https://www.city.ibaraki-koga.lg.jp/lifetop/soshiki/shobou/bousaisaigai/1715.html>

昨年10月の台風では、多くの地域の方々が、古河一小に避難されました。しかしながら、古河一小は避難場所であり、避難所ではありません。避難場所は、浸水が想定されるとともに、備品等はありません。古河一小から近い避難所は、古河二小、地域交流センター(はなももプラザ)となっています。古河市の指針に従い、最初からさいごの逃げ込み施設に向かうことは避けるようにしてください。本校でも、自分の命は自分で守るを基本に、防災・安全教育を進めていますので、よろしくお願いします。

茨城県では「マイ・タイム・ライン」の作成を呼びかけています。古河市ホームページ「市政・くらし→組織から探す→防災・危機管理課→防災・災害対策→古河市の防災を動画で学べます!」で、詳しく紹介されています。

<https://www.city.ibaraki-koga.lg.jp/lifetop/soshiki/shobou/7/13265.html>

マイ・タイム・ラインは、もし、災害の危機が迫った場合、災害に見舞われた場合、どのように自分は行動するかを家族等で作成して共有することで、安全を確保しようとするものです。是非、家族で作成をしてみてください。

9月1日避難訓練を実施しました

9月1日(火)の午後、地震を想定した避難訓練を実施しました。本年度は、緊急地震速報音を取り入れるとともに、予告なしで行いました。

3密を避けるため、校庭への避難は行わず、学級担任からの説明としました。古河一小では、様々な災害の危険が予測されている現在、危険を回避する能力を育てる防災教育を推進しています。



学校施設消毒ボランティア ありがとうございました

学校施設消毒ボランティアありがとうございました。新しく生まれた時間を、児童と向き合う時間、次の日の授業の準備に当てることができました。このボランティア活動の様子は、8月31日(月)の茨城新聞に、校長と出城の会会長のインタビューと写真とともに掲載されました。

